

甲南大学法科大学院入学試験問題について

－ 2014 年一般入学試験（後期募集） －

試験科目：商法

1. 出題趣旨

〔設問 1〕

株式会社の定款に議決権行使の基準日の定めがある場合に、基準日後に株式を取得した者に当該株式会社が議決権行使を認めることができるかについて、会社法に関する基本的理解を問う問題である。

〔設問 2〕

取締役会設置会社の代表取締役が取締役会決議に基づかずに行った重要な財産の処分の効力について、会社法に関する基本的理解を問う問題である。

2. 採点実感

〔設問 1〕

会社法 124 条 1 項に言及している答案は多かったが、同条 4 項本文・但書に言及している答案は少なかった。

〔設問 2〕

会社法 362 条 4 項に言及している答案は多かったが、取締役会設置会社の代表取締役が行った重要な財産の処分の効力について、判例または学説の考え方を本問の事例にあてはめて、結論を導いている答案は多いとはいえなかった。

3. 学習方法

会社法についての基本的知識を正確に理解するために、六法、会社法の教科書および判例集を読み込むとともに、短答式問題集を解いてみることを、ならびに、上記の知識を正確に使えるようになるために、簡単な事例問題（論文式問題集）を解いてみることを地道に続けて下さい。